

前の建物の時に

「砂の器」いう映画にでたね

この建物の躯体を作ってる間に  
ヨーロッパに行つて

デザインを決めたんです

お洒落雑貨ハクサン

親父が古本やつてる横で

新刊本売つてましてね

この柱辺りが境目やつたんです

今も仕切るにはもつてこいんですわ

奥の灯籠は風流だった前の家の証

マツバヤ

帽子かぶつてここすわつてるとな

おつちゃんそれと同じのんくれ

言われることあるね

珍しいで 紳士ものの帽子屋は

場所柄ハンチングもよう売れる

ライオン堂

風呂、映画、演芸、歌謡などが

楽しめた総合レジャービル

舞台は若手芸人達の登竜門だった  
今はジャンジャン町の

北東角にレンガの壁が残るのみ

温劇

向いが新世界グラウンドで

あつちの方に敷島

どこでどんな映画見てきたかつて

通行人見て大体わかりましたね

子供ながらに

上杉酒店

はじめは写真館で

昭和42年に喫茶店になりました

屋上で洗濯物干してると

人とぱつと目が合うんですよ

通天閣から丸見えやしね

喫茶ドレミ

フランスの田舎のどこにでもある

ビストロをめざしています

床は毎月ワックスをかけるので  
はじめは薄い木の色でしたけど

今は深い黒色になりました

ビストロヴェー

ここも古いけど

建物はしつかりしてます

表は塗り替えました

下の風呂屋には

はいったことおまへん

公衆興業株式会社事務所

70年ほど前に建つたんやね

空襲で焼けたけど外壁だけは

残りましたんや 四面とも

その後 中も以前と同じように

作り直したんです

新世界公衆劇場